

地震対応マニュアル

(教職員用)



地震発生時の共通初動マニュアル

地震発生

- (1)まず、身を守る！
机の下などへ
- (2)すばやく火の始末！
ガスの元栓、コンセント、実験器具
- (3)非常脱出口の確保！
教室等のドアを開ける、避難時の際にエレベーターを使用しない

緊急地震速報の活用
※詳細は3P参照



地震発生後 1~2分

- (1)火元を確認！
火が出たら、落ち着いて初期消火
- (2)同室員の安全を確認！
倒れた書庫等の下敷きになっていないかを確認・ケガ人の確認
- (3)作動中の実験器具等の停止！



地震発生後 3分

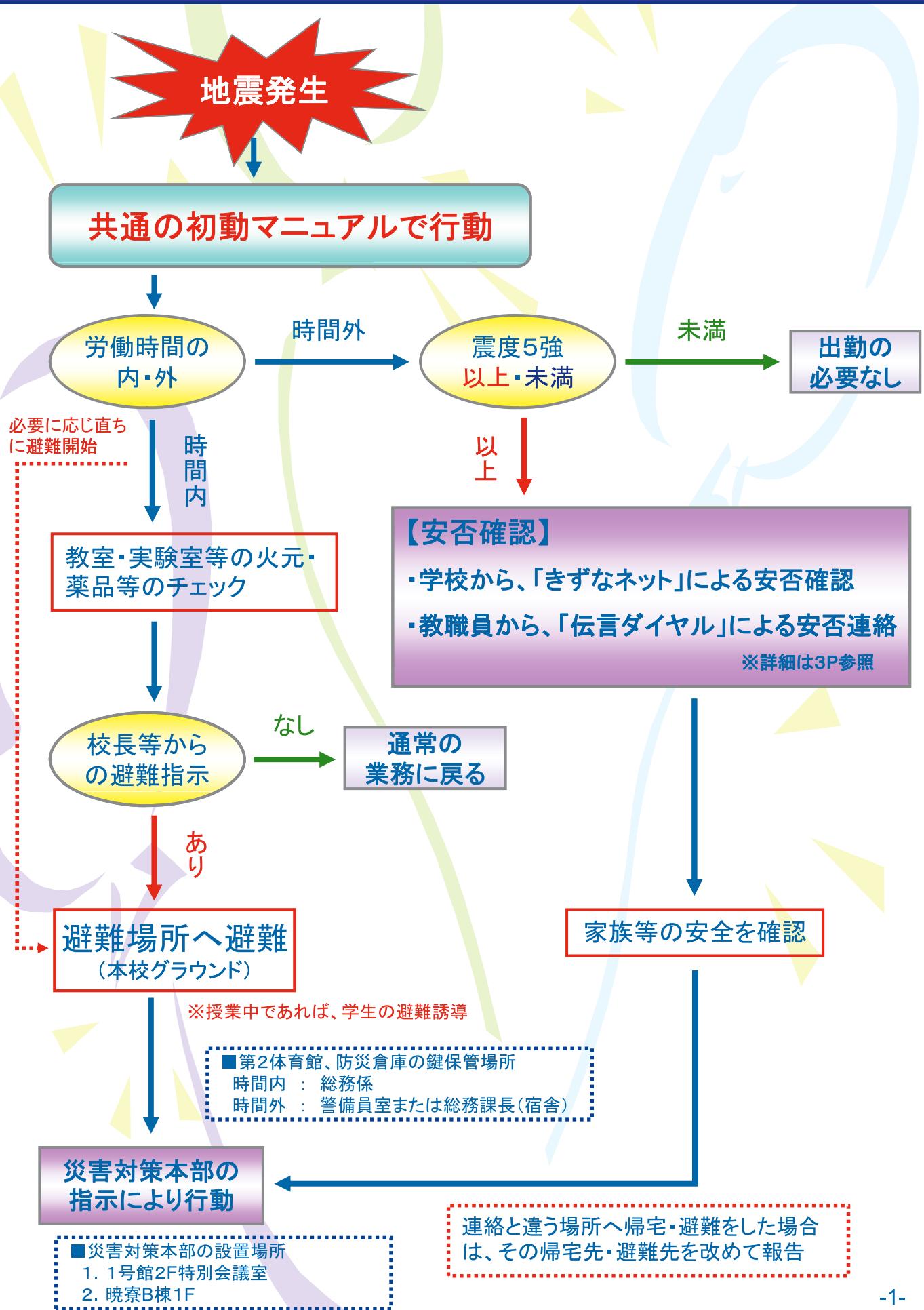
- (1)隣接する部屋で助け合う！
他の教室・教員室等で倒れた書庫等の下敷きになっていないかを確認
- (2)余震に注意！
建物の状況によっては、余震等で崩壊する恐れがある場合は、避難所に避難



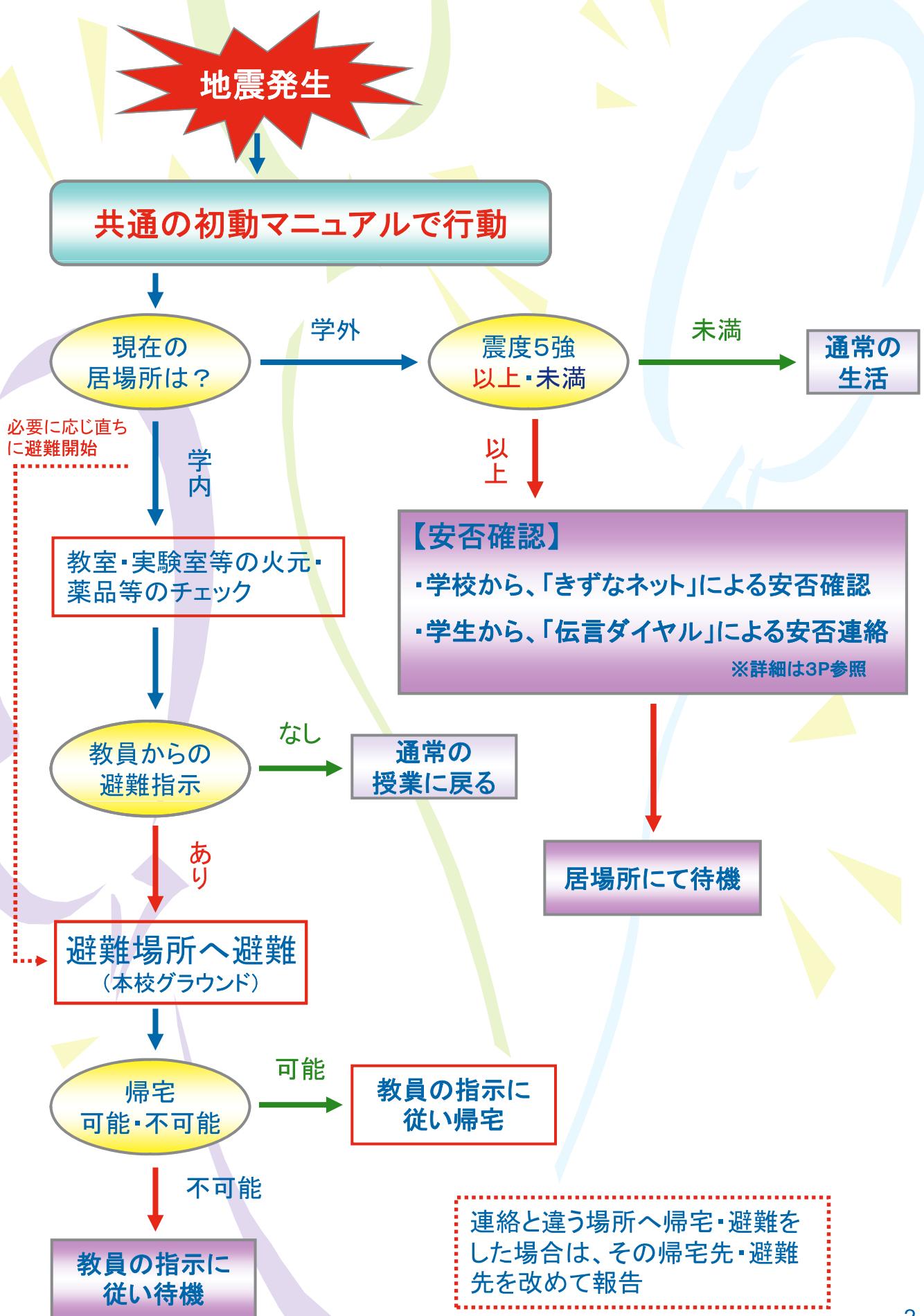
独立行政法人国立高等専門学校機構
鳥羽商船高等専門学校
Tel:0599-25-8000

平成26年4月

地震発生後の行動マニュアル(教職員)



地震発生後の行動マニュアル(学生)



緊急地震速報・災害伝言ダイヤル・鳥羽市等への連絡先

【緊急地震速報について】

揺れの強さが震度3以上と予測された場合、「緊急地震速報」により大きな揺れがくる数秒前に、全館一斉に緊急放送する。(ただし、震源が近い場合等には速報が間に合わないことがある。)

【災害用伝言ダイヤルについて】

・災害用伝言ダイヤルとは

地震などの災害発生により(地震ならば震度6弱以上)、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されるサービス

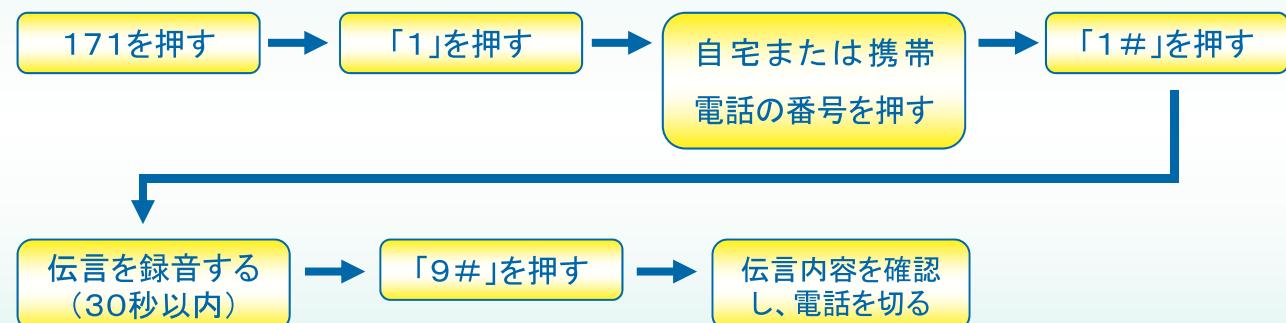
・災害用伝言ダイヤルのメリット

1. 避難等により電話に応答できない人への連絡が可能になる。
2. 停電、被災により自宅の電話が使えない場合の連絡が可能になる。
3. 呼出しても応答のない電話が減少する。

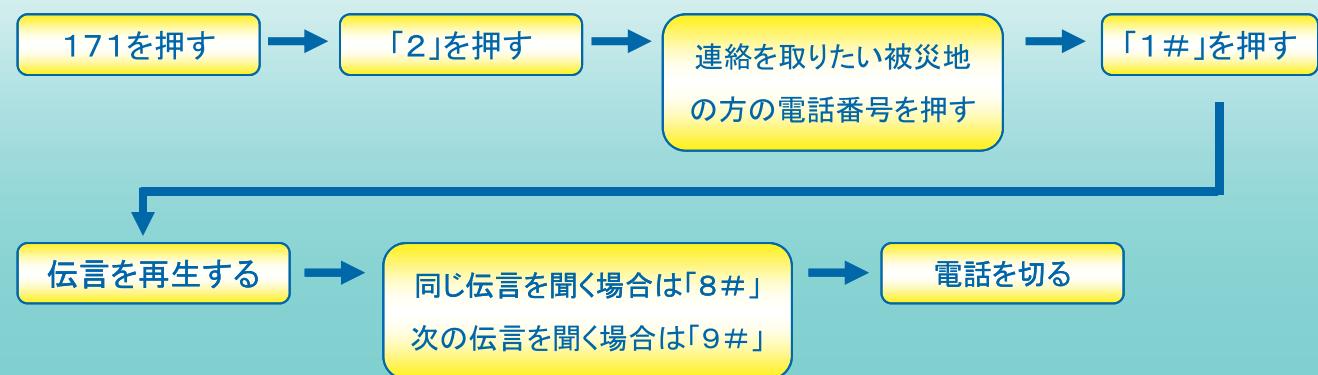
安否確認が
スムーズに行える

・災害用伝言ダイヤルの使用方法

■録音方法



■再生方法



【鳥羽市等への連絡先】

鳥羽市防災対策室	0599-25-1118	鳥羽市消防本部	0599-25-2821
鳥羽警察署	0599-25-0110	鳥羽海上保安部	0599-25-0118
中部電力(株)伊勢営業所	...	0596-28-2134	三重交通伊勢営業所	0596-25-7131
近畿日本鉄道(株)鳥羽駅	...	0599-25-2126	市立伊勢総合病院	0596-23-5111
山田赤十字病院	0596-28-2171			

地震と揺れ等の状況(概要)

震度と揺れ等の状況(概要)

0	【震度0】 人は揺れを感じない。	1	【震度1】 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	2	【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	3	【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
4	【震度4】 ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。	6弱	【震度6弱】 ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。				
5弱	【震度5弱】 ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	6強	【震度6強】 ●はわないと動くことができない、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。				
5強	【震度5強】 ●物につかまらないと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック壁が崩れることがある。	7	【震度7】 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。				

地震が起きたら ➤ あわてず、まず身の安全を!! ➤ 緊急地震速報を見聞きしたら

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- あわてて外に飛び出さない(落下物や車が危険)
- 揺れがあさまってから、あわてず火の始末
- あわてた行動、けがのもと
- 運転中は、ハザードランプを点灯し、緩やかに減速
- 近づくな、門や扉、自動販売機やビルのそば
- 海岸でぐらつきたら高台へ

家庭の耐震化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう!!



国土交通省 気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 電話:(03)3212-8341(代表)
ホームページアドレス、<http://www.jma.go.jp/>

平成21年3月31日

避難経路とハザードマップ

